

# 杉並区産 MaaS システム構築等業務委託事業者選定公募型プロポーザル選定結果

## 1 件名

杉並区産 MaaS システム構築等業務委託

## 2 選定事業者

株式会社ヴァル研究所

東京都杉並区高円寺北二丁目3番17号

## 3 選定経過

令和6年 4月19日 選定委員会設置

5月16日 公募開始

5月23日 公募締め切り（2事業者）

6月4日 第一次審査（書類審査）

7月9日 第二次審査（プレゼンテーション・ヒアリング審査）（2事業者）

受託者候補者の選定

## 4 選定理由

選定委員会が定めた選定基準に基づき、第一次審査及び第二次審査を実施した結果、評価点数が配点合計点の6割以上を獲得し、かつ最上位であるため。

## 5 選定委員会の構成

（敬称略）

職名等	氏名
東海大学 建築都市学部 土木工学科 准教授	鈴木 美緒（会長）
一般財団法人 計量計画研究所 理事兼研究本部 企画戦略部長	牧村 和彦
NPO おでかけサービス杉並 理事長	秋山 糸織
杉並区都市整備部長	中辻 司
杉並区都市整備部まちづくり担当部長	野口 知希（～6月30日） 吉見 紗（7月1日～）

## 6 審査結果

第一次審査（評価項目）		配点	A社	B社
経営状況	経営状況は良好であるか	20	10	15
	役員に占める女性の比率	10	10	5
	働きやすい・働きがいのある職場環境であるか	10	10	5
業務実績	国内他自治体等における MaaS システム構築又は実装の実績があるか	30	28	22

業務遂行力	業務の遂行体制は妥当であるか	10	9	10
情報セキュリティ	情報セキュリティ対策は適切であるか	10	10	10
費用対効果	コストは妥当か	10	8	7
企画提案書	企画提案書は本業務の目的に沿った、分かりやすい内容となっているか	15	13	14
	コンソーシアムを構成する事業者は適切か	15	12	15
	デジタルチケットや予約・決済機能等のユーザーインターフェイスは、多様な利用者が使いやすく・使いたくなる仕様となっているか	40	27	28
	ルート検索機能は、環境負荷の低減に資するとともに、地域特性に即し様々な交通手段に対応したものとなっているか	40	32	33
	データ収集及び管理機能により収集できるデータは、可視化や標準化等を含む十分なものとなっているか	40	22	31
	データの収集及び提供に係る個人情報の取り扱いは適切か	40	29	28
	運用及び保守は適切に行われるか	15	14	13
	スケジュールは実施可能なものとなっているか	15	13	13
	地域住民や来街者等へのマネタイズを含めたプロモーションプランは適切か	40	28	29
	AI オンデマンド交通等のシステムと MaaS は適切な連携が可能か	25	19	20
	AI オンデマンド交通実証運行に係る支援業務は適切か	25	16	23
	産官学民連携等を含め、移動需要を創出することにより、公共交通や自転車の更なる活用を促進するか	45	28	32
	将来性を含め、交通安全の確保、データ連携等の拡張性、ゼロカーボンへの可能性、近隣自治体への波及効果等、本事業実施による付加価値の創出はあるか	45	24	31
第一次審査計		500	362	384
第二次審査（評価項目）		配点	A社	B社
業務に対する取組姿勢	説明に説明力、論理性があるか	20	19	17
プレゼンテーション	業務内容を理解した提案となっているか	15	15	14
	コンソーシアムを構成する事業者は適切か	15	12	15
	デジタルチケットや予約・決済機能等のユーザーインターフェイスは、多様な利用者が使いやすく・使いたくなる仕様となっているか	50	40	33
	ルート検索機能は、環境負荷の低減に資するとともに、地域特性に即し様々な交通手段に対応したものとなっているか	50	38	32

	データ収集及び管理機能により収集できるデータは、可視化や標準化等を含む十分なものとなっているか	50	31	31
	データの収集及び提供に係る個人情報の取り扱いは適切か	40	37	35
	運用及び保守は適切に行われるか	15	15	15
	スケジュールは実施可能なものとなっているか	15	14	14
	地域住民や来街者等へのマネタイズを含めたプロモーションプランは適切か	50	40	28
	AI オンデマンド交通等のシステムと MaaS は適切な連携が可能か	30	23	26
	AI オンデマンド交通実証運行に係る支援業務は適切か	30	21	25
	産官学民連携等を含め、移動需要を創出することにより、公共交通や自転車の更なる活用を促進するか	60	43	31
	将来性を含め、交通安全の確保、データ連携等の拡張性、ゼロカーボンへの可能性、近隣自治体への波及効果等、本事業実施による付加価値の創出はあるか	60	42	36
	第二次審査計	500	390	352
	合計点	1000	752	736

## 7 所管課

都市整備部管理課